Creative Enzymes®

フラボバクテリウム・ヘパリナム由来のコンドロイチナーゼAC、組換え型

Cat. No. NATE-1738

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	フラボバクテリウム・ヘパリヌム由来のコンドロイチナーゼACは、コンドロイチン硫酸AおよびCを分解するエリミナーゼですが、コンドロイチン硫酸Bは分解しません。この酵素は、エリミネーションメカニズムを介して、ヘキソサミンとグルクロン酸残基の間に(1→4)結合を含む硫酸化および非硫酸化の多糖鎖の両方を切断します。この反□により、主に二糖類のオリゴ糖生成物が得られ、232 nmでUV分光法によって□出可能な不飽和ウロン酸を含みます。
用途	コンドロイチナーゼACは、メラノーマの浸潤と□殖、内皮の□殖、血管新生を抑制することが示されました。コンドロイチナーゼACは、コンドロイチナーゼBではなく、メラノーマおよび内皮細胞のアポトーシスを誘導することも示されており、これはカスパーゼ-3の活性によって測定されました。
別名	コンドロイチナーゼ（曖昧）；コンドロイチン硫酸リアーゼ；コンドロイチンACエリミナーゼ；コンドロイチナーゼAC；ChnAC；EC 4.2.2.5

製品情報

種	フラボバクテリウム・ヘパリナム
由来	E. coli
外□	パウダー
形態	酵素は、リン酸カリウム、NaCl、および安定剤を含む凍結乾燥粉末として供給されます。
EC番号	EC 4.2.2.5
CAS登□番号	9047-57-8
純度	≥90% (SDS-PAGE) この製品は、ヘパリナーゼ、硫酸エステラーゼ、ヘパリチナーゼ、グルクロン酸エステラーゼ、およびプロテアーゼ活性が実質的に含まれていません。
活性	>200 ユニット/mg タンパク質
単位定義	1単位は、pH 6.7、37ºCでコンドロイチン硫酸Aから不飽和二糖を1.0 µmole/分放出する酵素の量として定義され、A232の□化によって測定されます。反□生成物Δ-Di-4S（コンドロイチン硫酸AおよびB）のεmMは5.1、Δ-Di-6S（コンドロイチン硫酸C）のεmMは5.5です。37ºCでのアッセイの最適pHは6.7で、反□中のコンドロイチン硫酸の最適濃度は1 mg/mLです。活性は塩濃度にも依存し、>150 mM NaClで最大になります。コンドロイチン硫酸A、C、Bに□する酵素の相□活性はそれぞれ1.0、0.6、0.03です。コンドロイチン硫酸Bで□察される残留活性は、アッセイに使用された基質中の微小な不純物による可能性があります。

使用法とパッケージング

調製方法	バイアルの内容物を100µLの水で再構成し、約25 mMのリン酸カリウム、pH 6.5、150 mMのNaCl、および安定剤を含む溶液を得ます。

保管・発送情報

保存方法	製品は–20°Cで保管してください。適切に保管され、未開封の状態で–20°Cにある場合、酵素

保存方法	製品は−20℃で保管してください。一過性に保管され、未開封の状態で−20℃にある場合、酵素の推□再試験日は2年です。再構成後、製品は4℃で4日間保管できますが、作業用アリコットで−20℃に保存することをお勧めします。